

計画におけるサービスごとの介護給付費の見込みに対する実績のモニタリング

第8期介護保険事業計画【 R3 ・ R4 ・ R5 】

区分	単位	令和3年度			評価分析			
		年度計画	年度実績	進捗率(%)	分析評価	課題点	対応策	
居宅サービス	訪問介護	円	10,220,000	12,168,678	119.1%	新規認定者数の増により要介護2以下のサービス受給者数が計画より増加	訪問介護員の人員不足であったが、1名増員し5名体制となる。若手育成・能力向上が必須。	関係機関と連携した人員確保と育成によりサービスの質の向上を図る。
	訪問入浴介護	円	0	0				
	訪問看護	円	0	868,232		計画では想定していなかった利用	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める
	訪問リハビリテーション	円	796,000	88,650	11.1%	計画より利用ニーズがなかったことによる減 一時的利用に留まる。	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	通所介護	円	22,331,000	20,440,854	91.5%	コロナ禍における利用者の自粛による減少	通所サービスは、感染症の影響を受けやすく、利用しやすい環境が必須である。	施設の感染予防対策を徹底し、送迎から入浴、食時等の一連の予防対策を徹底する。
	通所リハビリテーション	円	0	0				
	短期入所生活介護	円	21,402,000	20,137,734	94.1%	コロナ禍における新規利用者の減	施設側の受入体制の構築	施設の感染予防対策を徹底し、受入体制を構築する必要がある。
	短期入所療養介護	円	0	0				
	特定施設入居者生活介護	円	7,184,000	7,303,839	101.7%			
	居宅療養管理指導	円	90,000	146,079	162.3%	状態悪化による要支援から要介護移行による増。	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	福祉用具貸与	円	4,393,000	5,447,600	124.0%	状態悪化による要支援から要介護移行による増。	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	特定福祉用具販売	円	457,000	344,100	75.3%	昨年より件数は12件で2件増であるが、購入品目数が減少している。	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
住宅改修	円	1,002,000	192,500	19.2%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	円	0	510,186		計画では想定していなかった利用 町外利用者1名	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める
	夜間対応型訪問介護	円	0	0				
	地域密着型通所介護	円	0	0				
	認知症対応型通所介護	円	0	0				
	小規模多機能型居宅介護	円	0	2,778,039		計画では想定していなかった利用 町外利用者1名	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める
	認知症対応型共同生活介護	円	36,850,000	35,940,042	97.5%			
	地域密着型特定施設入居者生活介護	円	0	0				
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	円	0	0				
看護小規模多機能型居宅介護	円	0	0					

計画におけるサービスごとの介護給付費の見込みに対する実績のモニタリング

第8期介護保険事業計画【 R3 ・ R4 ・ R5 】

区分	単位	令和3年度			評価分析			
		年度計画	年度実績	進捗率(%)	分析評価	課題点	対応策	
施設サービス	介護老人福祉施設	円	222,007,000	229,010,537	103.2%			
	介護老人保健施設	円	6,608,000	9,920,084	150.1%	他施設の移動による増	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る。
	介護医療院	円	0	0				
	介護療養型医療施設	円	0	0				
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	円	0	0				
	介護予防訪問看護	円	368,000	515,373	140.0%	利用者の状態からの回数の増	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る。
	介護予防訪問リハビリテーション	円	350,000	34,176	9.8%	計画より利用ニーズがなかったことによる減 R3年5月分から利用なし	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防通所リハビリテーション	円	0	42,323		計画計画では想定していなかった利用 R3年5月分から利用なし	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防短期入所生活介護	円	177,000	0	0.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防短期入所療養介護	円	0	0				
	介護予防特定施設入居者生活介護	円	0	0				
	介護予防居宅療養管理指導	円	121,000	35,667	29.5%	状態悪化による要支援から要介護移行による減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防福祉用具貸与	円	1,120,000	885,303	79.0%	状態悪化による要支援から要介護移行による減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	特定介護予防福祉用具販売	円	379,000	169,488	44.7%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
住宅改修	円	522,000	86,625	16.6%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る	
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	円	0	0				
	介護予防小規模多機能型居宅介護	円	0	0				
	介護予防認知症対応型共同生活介護	円	0	373,779		計画では想定していなかった利用 R3年7月から利用なし	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める

計画におけるサービスの量の見込みに対する実績のモニタリング

第8期介護保険事業計画【 R3 ・ R4 ・ R5 】

区分	単位	令和3年度			評価分析			
		年度計画	年度実績	進捗率(%)	分析評価	課題点	対応策	
居宅サービス	訪問介護	回/月	340.6	410.0	120.4%	新規認定者数の増により要介護2以下のサービス受給者数が計画より増加	訪問介護員の人員不足であったが、1名増員し5名体制となる。若手育成・能力向上が必須。	関係機関と連携した人員確保と育成によりサービスの質の向上を図る。
	訪問入浴介護	回/月	0.0	0.0				
	訪問看護	回/月	0.0	13.5		計画では想定していなかった利用	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める
	訪問リハビリテーション	回/月	21.3	2.5	11.7%	計画より利用ニーズがなかったことによる減 一時的利用に留まる。	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	通所介護	回/月	316.2	297.4	94.1%	コロナ禍における利用者の自粛による減少	通所サービスは、感染症の影響を受けやすく、利用しやすい環境が必須である。	施設の感染予防対策を徹底し、送迎から入浴、食時等の一連の予防対策を徹底する。
	通所リハビリテーション	回/月	0.0	0.0				
	短期入所生活介護	日/月	227.8	222.5	97.7%	コロナ禍における新規利用者の減	施設側の受入体制の構築	施設の感染予防対策を徹底し、受入体制を構築する必要がある。
	短期入所療養介護	日/月	0.0	0.0				
	特定施設入居者生活介護	人/月	4.0	3.6	90.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	居宅療養管理指導	人/月	1.0	2.3	230.0%	状態悪化による要支援から要介護移行による増。	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	福祉用具貸与	人/月	37.0	49.1	132.7%	状態悪化による要支援から要介護移行による増。年度延件数は774件と前年度と変更なし	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	特定福祉用具販売	人/月	1.0	1.0	100.0%			
住宅改修	人/月	2.0	0.4	20.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人/月	0.0	0.4		計画では想定していなかった利用 町外利用者1名	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める
	夜間対応型訪問介護	人/月	0.0	0.0				
	地域密着型通所介護	回/月	0.0	0.0				
	認知症対応型通所介護	回/月	0.0	0.0				
	小規模多機能型居宅介護	人/月	0.0	1.2		計画では想定していなかった利用 町外利用者1名	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める
	認知症対応型共同生活介護	人/月	12.0	12.2	101.7%	在宅認知症高齢者の増により入所者数が微増	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る。
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/月	0.0	0.0				
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人/月	0.0	0.0				
看護小規模多機能型居宅介護	人/月	0.0	0.0					

計画におけるサービスの量の見込みに対する実績のモニタリング

第8期介護保険事業計画【 R3 ・ R4 ・ R5 】

区分	単位	令和3年度			評価分析			
		年度計画	年度実績	進捗率(%)	分析評価	課題点	対応策	
施設サービス	介護老人福祉施設	人/月	76.0	75.8	99.7%			
	介護老人保健施設	人/月	2.0	3.0	150.0%	他施設の移動による増	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る。
	介護医療院	人/月	0.0	0.0				
	介護療養型医療施設	人/月	0.0	0.0				
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	回/月	0.0					
	介護予防訪問看護	回/月	8.0	11.8	147.5%	利用者の状態からの回数の増	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る。
	介護予防訪問リハビリテーション	回/月	10.0	1.0	10.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減 R3年5月分から利用なし	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防通所リハビリテーション	人/月	0.0	0.1		計画では想定していなかった利用 R3年5月分から利用なし	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防短期入所生活介護	日/月	2.6	0.0	0.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防短期入所療養介護	日/月	0.0	0.0				
	介護予防特定施設入居者生活介護	人/月	0.0	0.0				
	介護予防居宅療養管理指導	人/月	2.0	0.9	45.0%	状態悪化による要支援から要介護移行による減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	介護予防福祉用具貸与	人/月	20.0	15.4	77.0%	状態悪化による要支援から要介護移行による減少。年度延件数は774件と前年度と変更なし	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
	特定介護予防福祉用具販売	人/月	1.0	0.5	50.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る
住宅改修	人/月	1.0	0.2	20.0%	計画より利用ニーズがなかったことによる減	適切で質の高いサービスの提供と体制の構築	関係機関と連携したサービスの質の向上を図る	
地域密着型介護サービス	介護予防認知症対応型通所介護	回/月	0.0	0.0				
	介護予防小規模多機能型居宅介護	人/月	0.0	0.0				
	介護予防認知症対応型共同生活介護	人/月	0.0	0.3		計画では想定していなかった利用 R3年7月から利用なし	地域的な利用ニーズが不透明であり、体制構築が難しい。	継続的な利用ニーズの把握に努める